薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」

郡山市立薫小学校
学 校 便 り　№.２３
令和７年　３月　３日
文責：校長 齋 藤 和 彦

「６年生を送る会」を通して..
～子どもたちにしか創れない時間と場～

２月２８日（金）は６年生を送る会でした。

５年生の全体企画.運営にて,各学年がそれぞれの出し物に,その気持ちを込めました。

下級生どの学年も工夫を凝らし,全力で準備し,懸命に練習して,この日を迎えました。

満開の桜が咲きほこる..華やかであたたかな会場装飾の中に６年生を迎えしました。

６年生のエスコートは１年生です。６年生の手をとって(※今日は,つないでもらうのではありません）席まで案内する役目です。～精一杯のふるまいで,「どうぞ」と席に座ってもらって..ひと安心。緊張のミッション完了です！

５年生実行委員の明るく歯切れのよい口調の進行と実行委員長さんのすばらしい感謝の言葉に,感動の幕開けを予感させられました。

１年生をトップバッターに,次から次に繰り広げられる学年の「ありがとうの出し物」は,キレッキレのダンス！６年生への応援エール！巻き込んでのクイズ形態！６年生に勝負を挑む５年生！～どの学年も１０分程の出し物の中に,『６年生に喜んでほしい』気持ちを込めて精一杯の演技を披露しました。

６年生の笑顔.拍手.総立ちで一緒に踊ってくれる姿..また,涙をこらえる表情に..下級生は,どんな気持ちを抱いたことだろう？

薫の子..全校児童が一堂に会して,桜満開の体育館装飾を見渡し..校歌を歌い..各学年の出し物越しに笑顔を交し合い..すばらしい進行にあこがれを抱き..『６年生が喜んでる！笑ってる！』これを皆が実感することができた時間。。在校生から「♪明日へつなぐもの」(※すてきな歌詞です）を贈って会は幕を閉じました。退場のアーチを見送り..多くの子が泣いていました。担任だけでなく先生方の目にも涙がありました。(私も何度も..)

６年生への別れ難い思い..また,先生方は各学年の精一杯の発表の姿に,この１年間の成長の姿を見ることができるからです。

学年発表の予期しないハプニングにも,あの子が機転を利かせてアドリブ対応。。子どもも担任も保護者も..思い悩むことがあったけれど,今.送る会のこの場に..学年の中に,あの子が確かにいることができる。こんな思いに胸を熱くして。。下級生をこんなにも本気にさせてくれる..６年生のこの１年間の姿があったからこそ..の,『時間と場』なのです。

◇◆ 校長室から ◆◇
～大切にしたい..「子どもの世界」～

左に記載した感動的な「６年生を送る会」～「保護者に参観案内はないのですか？」

昨年もＰＴＡ役員から,また,６年生保護者だけでも..とのお話がありました。

校長の応えは,**「子ども達だけの心の交流の場にしたいのです」**と説明してきました。
（今年の会を終えても校長の応えは同様です）

こんなにも感動的な「薫小６年生を送る会」これを保護者参観にしていないわけは,

① 『子ども達がまっすぐに６年生に向けての心を届ける時間と場』(子どもの世界）を大切にしたいと考えているからです。

「６年生のお兄さんお姉さんが喜んでくれるといいな」この気持ちひとつで準備.練習してきた学年プレゼント。学年の先生方も子どもと同様の気持ちで準備します。

子ども達が６年生のためだけに,内緒で..みんなの力をひとつに..ダンスの動きで..うれしい笑顔で..と,こんな準備の時間をも大切にしたいからです。(※２年生は,最後まで私へも出し物の秘密の見せ場は内緒でした）

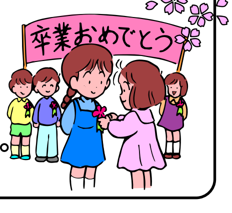
② １０分間の発表をやりきって..６年生の喜んだ顔だけが,子ども達のめざすものなのです。～ここに,薫小の６年生を送る会のあの感動の“真の意味付け”があります。

③ ６年生は,下級生の頑張りや努力をちゃんとわかってくれます。拍手で応え,一緒にウェーブ参加して,笑顔で..また,涙をこらえる表情で応えてくれます。子ども達は,下級生も６年生も,笑顔に.乗りのりに.涙にも..自分のありのままを現します。

～こんな『子どもの世界』(子どもだけの心の通い合い）を大切にしてあげたいのです。

～きっと「見たい」「Video に」保護者の皆さんの気持ちもわかります..が,保護者参観の前では,子ども達のあの..ありのままの姿や感情の表出は難しいとも思えるのです。

“子どもの世界”の姿を信じて..お子さんの話から,想像の中でたくさん褒めてあげる保護者の姿も大切にしたいことと考えます。

送る会の様子は,写真で【薫小ホームページ】に掲載しました。どうぞ。

６年生とのお別れの日,卒業まで..あと１３日となりました。
～また次の６年生が育ちます～